

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連  (北関東)		都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・2月は大口団体等はないものの、インターネット予約が過去最高を記録するなど、ビジネスを中心とした個人予約が大幅に伸びている。
		都市型ホテル（営業）	来客数の動き	・今月も引き続き、宴会、宿泊共に、好調で順調に推移している。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	来客数の動き	・家族や親族だけで行う葬儀や費用への関心が高まっており、問い合わせも多くなっている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・一般的な物はそんなに良いと思わないが、学校販売は、注文数が前年とほとんど変わっていないため、景気もやや良くなっていると感じている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・食品のみだが、売上は久しぶりに前年比100%になっている。来客数も前年比100%である。相変わらず、衣料と住居用品は売れていないものの、多少数値が上がってきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・4月からの税制改正で増税になる車種などの駆け込み需要が出ている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数はここ2年くらいで本当に改善されている。客単価はなかなか上がらないが、下げ止まった感がある。飲食店がかなり増えたため、潰し合いになっている部分もあるが、景気は良くなってきた。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・3か月前の集客状況が非常に悪かったため、それと比較すると持ち直してきている。ただし、前年と比較するとまだ良くない状況である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新築の販売、引き渡し物件数が増えてきている。
		ゴルフ練習場（経営者）	販売量の動き	・年度末が近づき、商品に動きが出ている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・厳しい状況のなかで今月は予算達成し、3か月前よりも好調である。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・原因は不明なものの、物件に動きがみられる。販売量はやや増加傾向にある。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・天候の影響は大してないが、街中の人出は大変少ない。節分の日も暖かだった割には、例年より人出は少なく活気がなかった。現状、春物の動きもほとんどない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・中学校のかばんを学校で販売しているが、全体を100とすると、おさがりということで他人や兄弟からもらったりして、60～55%しか買ってくれない。そういう学校が多くなってきており、非常に閉口している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・今月は特に客が少なく、商品の動きも大変悪い。そこにきて特売品の売上ウエイトが高く、最悪の月である。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今年は寒気が続いて厳しい冬である。客の様子も動きが大変悪い。周辺も活気が出てこない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・現状に慣れてしまっているのか、必要とする物が少ないのか、相変わらず商品の動きは少ない。修理などの業務も少なく、静かな2月である。消費者の購買意欲が出てこない限り、売上の伸びは期待できず、厳しい。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・依然として婦人、紳士アパレルの不振は継続している。化粧品やパレンタインなど一部好調な商品群もあるが、2～3か月前と比較し状況は厳しいままである。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・個人消費が低迷している。
		百貨店（副店長）	お客様の様子	・長い間、どん底だった衣料品を中心に、若干ではあるが回復傾向の手ごたえがある。ただ力強さは感じられず、先行きも不安の方が強い。今月、初めてチョコレートの催事を開催した。売上は見込みをはるかに上回り、都心店に引けを取らない客単価に驚いている。最も印象的なのは若いOLと思われる客が、連日大勢詰めかけたことである。それも午後5時以降に車列ができ、閉店時まで滞留している様子を見ると、地方にも客はおり、購買意欲もある。ただ、客の欲しいものを私たちが提供できていなかったと深く反省している。これを教訓にして品ぞろえや販促の仕方、売り方を見直さなくてはと痛感している。

	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・客の消費動向は依然として厳しい。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・節分やバレンタインのようなイベントでの消費は増えているものの、日常の買物では1人当たりの買上点数や客単価は下降トレンドであり、既存店の売上高は前年同期比98%台にとどまっている。
	スーパー（商品部担当）	単価の動き	・ここ数か月の傾向は、来客数の減少を買上点数や1品単価で補っており、変わらない。天候不順により前年比較が難しい月だが、イベントなどの集客は良い。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・売上は前年比101%で、経費は102%である。人件費や経費が増えて、利益は伸びていない。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・今月は車検、一般整備入庫については、目標を若干だが上回る数字が出ている。しかし、車両販売は低迷が続いている。整備料金もある程度、客の要望に沿う形のものもあり、景気の悪さを実感させられる。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・この数か月は新車の販売、整備売上等が横ばいである。知恵を絞り、努力をしてもこの程度なのだから、この先が思いやられる。生きるためにはもっと工夫しなければならない。
	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・来客数が極端に減っている。購入を考える方や修理の方は当然来るが、それ以外のカタログ、見積といった細かい用事で来店する方が極端に減っている。とにかく、目的を持って来る客だけで、遊びに来る客が極端に減っている。
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・例年2月の販売量との比較、スーパーやそこに納品している客の話、近隣の交通量なども含めて、あまり活気がなく、盛り上がり欠けている。
	住関連専門店（経営者）	単価の動き	・買上単価の上昇はわずかなものの、客単価はほぼ横ばいである。買上単価上昇は商品単価上昇のためであり、景気とは関係ない。地方経済は依然として横ばいである。
	住関連専門店（仕入担当）	単価の動き	・特売日に売上が集中する傾向が続いており、特に季節的な端境期は、その傾向が顕著になる。一時的に上がった平均購入単価も消耗品中心に下降傾向が止まらない。
	その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	来客数の動き	・節分、バレンタイン、大型イベント開催時など、コト消費以外の平常時は来客数が減る。消費者が、お金を使う日と単に暇を潰しに来る日の差が顕著で、堅実な消費はさらに継続する。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前月は売上、来客数共に非常に悪く、今月は多少の増加はあるが、前年と変わっていない。
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・ランチタイムは大体客席が満席になるが、ディナー客が非常に少なく、客単価も伸びない。客単価が非常に悪い。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数は非常に多くなったような気がするものの、売上からみると、若干前年より良くなっているが、まだ景気が回復しているとは思えない。
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・3か月前の12月は例年に比べれば、多少稼働が良くなかったが、2月の稼働はそこそに戻ってきている。ただ、景気が上向いて稼働が戻っているという、これといった理由はあまりないので、状況的には変わらない。
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べて、客単価の上昇があまり感じられないので、現状維持である。
	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・オフシーズンでもあり、人気のイベントを実施している一部の地域以外は、来客数はあまり良くないようである。
	旅行代理店（副支店長）	来客数の動き	・個人客の動きが鈍く、年末年始同様に多少控え目である。また大雪などの天候不順もあり、客の動きが少なく、国内、海外旅行共に前年を下回っている。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・夜の動きは変わらないものの、昼の動きが良かったので、前年同月と比べて6%の増収である。
	タクシー（役員）	お客様の様子	・客の様子から、変わらない。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・客の反応も少なく、相変わらず低調である。
	通信会社（経営者）	販売量の動き	・販売量の増減なく、横ばいである。
	通信会社（店長）	販売量の動き	・販売量を増やすため、単価を下げて売らざるを得ない。

通信会社（局長）	お客様の様子	・経済的理由での解約がある。価格競争が続いており、デフレから脱却できていない。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年に比べて降雪日が少ないことから、来客数は微増である。
観光名所（職員）	来客数の動き	・近隣スキー場は、学生が休みに入っているためにぎわっているものの、宿泊は安価な施設に流れている。
ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・現在冬期クローズ中のため、状況がつかみにくい。
ゴルフ場（支配人）	お客様の様子	・2月の寒い時期ではあったが、やはり若者よりも年配者が来場して、元気にコースを回っている。期待できるのは団塊世代である。
ゴルフ場（総務部長）	来客数の動き	・3か月前の来場予約数と比較して、同じような状況である。
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価とも、ほとんど変化がみられない。
その他サービス [立体駐車場] （従業員）	お客様の様子	・3か月前と比べて、来客数の動き、単価、販売量、売上全て横ばいである。そのため、変わらない。また、客も買い控えの様子で依然として変わらない。
その他サービス [イベント企画] （職員）	お客様の様子	・県内では景気回復に向けた動きが見られるようだが、客の様子からは変化を感じられない。
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・仕事の依頼数は相変わらず少なく、足りていない。
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・今月は年度末が近いので、アパート、マンション、貸家等の引き合いが増えて、いくつか契約になっている。また、不動産も若干問い合わせ等が増えてきたような感じがする。ただし、契約にはなかなか至らない。
一般小売店 [衣料]（経営者）	販売量の動き	・学生服の販売をしている。新学期になるので、客は割と来店しているが、量的には減っている。これからは新学期を迎える学生数も減る。
一般小売店 [家電]（経営者）	販売量の動き	・客の動きがない。
百貨店（営業担当）	単価の動き	・客単価が低下している。時期的に衣料品はバーゲンが収束し、春物の定価品へ移行する端境期だが、客の定価品への目は依然厳しく、いまだバーゲン品を求める客が目立つ。3か月前と比べてやや悪くなっている。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・元々2月はそんなに商材もなく、販売はそんなに伸びない月と予想していたが、競合店が出店して、やや影響を受けている。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べると、客の欲しい商材が少ないため、やや悪くなっている。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・キャンペーンなどを行ったにもかかわらず、あまり来客数が増えていない。それでもなんとか、前年同月はクリアしたが、あまり良くない。
自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・新車販売減少に連動して、メーカーの客の囲い込み策である物品プレゼント等が、更に強固になってきている。
その他専門店 [燃料]（従業員）	販売量の動き	・販売量は伸びているものの、前年に比べると減少している。非常に厳しい。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・夜の飲酒を伴う会食が、非常に少ない。
一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・ここ数年は微増であったレストランの売上が、前年同期比でマイナスとなっている。宴会件数も前月後半から前年同期比で落ち込んできている。前年を超えているのは葬儀向け仕出しぐらいである。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・大河ドラマの放映が終わり、観光に関わっているとみられる客の姿はみえない。例年どおりと言えばそれまでだが、降雪、低温など天候に影響される季節のため、1～2月共に前年比2割減である。
スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きと回答したが、何年かこうして回答しているが、質問のなかでやや悪いとかではなく、良くないという形で返答をしたい。2月は本当に、景気が悪くなると昔から言われている2月と8月だから景気が良くないのか、たまたま今回プレミアムフライデーがあったが、初回なので難しい。どこまで浸透していくかという期待をしているが、いずれにしても良くない。

	タクシー運転手	お客様の様子	・街の中は、昼も夜も歩いている人がいないためひっそりとしている。1日の営業回数は10回前後で、売上が伸びない。飲み会などもなく、余裕がないようである。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・主婦にとって一番生活費を節約するのは美容であるため、髪の長さはあまり気にせず、来店回数は少なくなり、おしゃれに少し無頓着になっている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・ここに来て、周辺の企業とその下請企業の人員リストラによる来客数及び販売額の減少が顕著である。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・3か月間、各月前年比5%ほど落ちている。キャンペーン等の集客手段を考える必要がある。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・前月は少し上向くかと思ったが、結局様子見の物件ばかりである。これらが実現する可能性は、今のところかなり低い。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き
	×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き
	×	家電量販店（店長）	販売量の動き
	×	通信会社（経営者）	販売量の動き
企業 動向 関連  (北関東)		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
		その他製造業 〔環境機器〕 （経営者）	受注量や販売量の動き
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
		金融業（調査担当）	取引先の様子
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子
		経営コンサルタント	取引先の様子
		食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き
		食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子
		化学工業（経営者）	取引先の様子
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き

	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの電話システム関連の受注が、前年から落ち込んでいる状況に変化がみられない。他の取引先への営業も厳しい状況のままである。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年に比べ仕事量は増えているが、3か月前と比べると、同じくらいである。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・この2か月は、受注量、販売量が激減した会社もあれば増えた会社もあるため、どちらとも言えない。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年度末ということもあるのか、例年に比べて、特段動きがない。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新年度を前に、新生活用品、白物家電、寝具等のインターネット通販向け輸送量は順調に伸びている。一方で、家電量販店等の物量が落ち込んでいるため、前年並みの輸送量となっている。	
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・観光関連業種では、インバウンド客は増加しているものの、中国人団体観光客は減少している。製造業は既往取引先からのコストダウンにより厳しい状況である。	
	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・今月の受託業務は中止や変更などはなく、金額等についても値下げ依頼はあったものの、従来と同額で行うなど、良くも悪くも横ばいである。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比87.4%と大きく減少している。前年と比べて暦が1日少ないことが原因ではない。大型パチンコ店のオープンもあったものの、全体的に落ち込みが止まらない。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・本当にほんの少し良くなっている程度で、変わらない。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・売上等に大きな変化はない。助成金に興味を持つ経営者が増えてきており、助成金セミナー案内のFAXも増えている。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注、販売量共に増加傾向にある。ただし、年度末に向けた駆け込み受注も多く、一時的な要因である。	
	*	*	*	
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月が売れなかった。1月の国際宝飾展も低調で、その後のマーケット、特に今月は更に厳しく、修理やリフォーム等で何とかしのいでいる状態である。展示会やお祭りで集客はかろうじて前年並みだが、売上は10～15%下落している。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占めている建設業である。現政権誕生後3年間、前年比増で推移してきたが、今年度は同比減となっている。特に、一番影響を受ける市町村発注が同78%と大きな落ち込みであり、現政権樹立後初めての状況である。当社の受注も同10%減と厳しい。今期決算が心配である。
雇用 関連	-	-	-	
(北関東)	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・3か月前よりは少し仕事量が増えて、求人募集している。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺のチェーン店や地域で大型の飲食店は、特に人手不足で、募集広告を出しても応募が少なく、入社しても短期間で辞めてしまうため、人手不足の状況が続いている。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者が減少している。また、より良い条件を求める在職者の割合が大きい。仕事を辞めざるを得ないという人は少ない。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・1月分の新規求人をみると、建設業、製造業、不動産業等で前年を上回っている。建設業では、官公庁の新規請負業務が成立し、求人の目立つ業者がある。内装仕上業でも、新卒採用が確保できている企業がある。総合住宅はモデルハウス、新築現場等の来場者数の増加に伴い、営業に力を入れるため、求人が多くなっている。製造業は、更新月の月ずれによって、求人数の増減が顕著になっているが、食料品製造業では、インスタントみそ汁等の包装、梱包作業が繁忙期を迎えており、派遣労働者を受け入れてしのいでいる状況がうかがえる。	
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・介護士、保育士、サービス業関係の人材募集が多いようである。製造業は人材がほぼ定着している様子で募集は少ない。住宅や補修等の道路、河川等での工事や公共工事が目立ってきている。	

	人材派遣会社 (管理担当)	求人数の動き	・修理関連の派遣求人数は増加しているが、製造関連は減少している。その他業種の派遣は変化のない状況である。
	人材派遣会社 (支社長)	求職者数の動き	・求職者の動きは素早く、1人に複数の仕事集中しているようである。派遣で仕事が決めた後で、週末を挟めばすぐに心変わりするほど、有期、無期の求人が入り乱れている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比で2か月連続減少となっている。
	学校[専門学校] (副校長)	求人数の動き	・職種はずいぶん限られてはいるが、この時期でも新卒を対象とした求人が、例年にないほど出てきている。
	*	*	*
x	-	-	-